ハイブリッド型ストレージシステム「Nimble Storage」の国内販売開始

フラッシュメモリを最適に活用する独自技術で10倍以上の高速性とコスト効率を両立
日々の運用監視、プロアクティブなライフサイクル管理をクラウドサービスで提供

アセンテック株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 直浩）は、Nimble Storage(ニンブル・ストレージ)社（Nimble Storage,Inc.
本社：米サンノゼ）と代理店契約を締結し、日本国内唯一のディストリビュータとして、ハイブリッド・ストレージシステム「Nimble Storage」を12月下旬より販売開始予定です。

「Nimble Storage」は、フラッシュメモリ(SSD)とハードディスク(HDD)を組み合わせた低価格のハイブリッド型ストレージで、従来のティアリング（階層化）の概念を持たず、独自の特許技術「CASL（キャッスル）：Cache Accelerated Sequential Layout」により、圧縮しながら効率的にディスクへ書き込みをおこない、フラッシュメモリ(SSD)をリードキャッシュとして利用することによりアプリケーションのスループット要求を満たす高いパフォーマンスを実現します。また、スナップショット機能により、データ保護やバックアップにも威力を発揮し、不測の事態にも迅速なリカバリが可能です。

「Nimble Storage」は、冗長構造により可用性を高めた3Uのコンパクトな筐体のアプライアンスで、短時間に導入・設定が可能です。また、CitrixやVMwareなどのVDI、マイクロソフトやオラクルなどのアプリケーション用にストレージパラメータを設定したリファレンス・アーキテクチャを提供することにより、チューニングやマニュアル設定せずに最適なパフォーマンスが得られます。
さらに、ストレージの稼働状況や利用状況をモニタリングして解析し、ライフサイクルをプロアクティブに管理可能にするクラウド型サービス「Nimble Storage InfoSight」により、システム管理者の運用負荷を大幅に軽減します。
「Nimble Storage」は、これらの特長がグローバル市場において高く評価され、2010年の発売開始からわずか3年で1,750社が導入しています。

「Nimble
Storage」の製品シリーズは、CPU、キャッシュ、容量の違いにより8TBモデル～36TBモデル(実効容量は最大50TB)まで、全7モデルで構成されます。外部ディスクシェルフを利用することで、アプライアンスあたり最大254TBまでの拡張が可能です。
販売価格は、8TB（Raw）のエントリーモデル「Nimble Storage
CS210」が3,900,000円(税別)で、スナップショット、レプリケーションなどに必要なすべてのソフトウェア機能を、追加ライセンス費用なしで利用できます。アセンテックは、Nimble
Storage社の国内唯一のディストリビュータとして、システムインテグレータを通して販売し、初年度200台の出荷を目標とします。

◆ ストレージシステムの課題と「Nimble Storage」のソリューション

多くの企業は、データの爆発的な増加、ならびに、アプリケーションのスループット要求の高まりへの対応と同時に、厳しい予算削減の必要性に直面しています。パフォーマンスの観点では、記憶媒体としてフラッシュメモリを用いるSSD(ソリッドステートドライブ)が注目されていますが、容量当たりの単価が高いことが課題です。また、仮想マシンやアプリケーションの種類や数が増大して管理が複雑化しており、事業継続やデータ保護に必要なバックアップも煩雑になっています。
「Nimble Storage」は、独自の特許技術である「Cache Accelerated Sequential
Layout、略称：CASL(キャッスル)」アーキテクチャにより、フラッシュメモリとハードディスクの最適な組み合わせを実現したハイブリッド型ソリューションで、高いパフォーマンスとコスト性を両立します。
また、スナップショット機能、レプリケーション機能により、バックアップ不要で、データ保護や迅速なリストアが可能です。さらに、パフォーマンス、および容量のニーズに応じて、ダウンタイムゼロで、段階的に拡張可能です。
さらに、Nimbleは、ディスク当たりのIOPSについて、他社と比較して10-15倍となり（Microsoft Exchange 2010 solution reviewed program(ESRP)-Storage v3.0
Benchmarkの結果）、VDI環境での利用にも最適です。

◆ 独自の特許技術「CASL」

「Nimble Storage」の中核技術である「CASL:Cache Accelerated Sequential
Layout」アーキテクチャの主な特長は以下の通りです。
(※印の数値は導入ユーザのシステムでの実績に基づくものです)

・ダイナミックキャッシング
頻繁に使用されるホットデータのコピーとメタデータをフラッシュドライブ(SSD)にリアルタイムにキャッシングするので、高いスループットでレーテンシーが低く、従来のボルトオン型や階層型アプローチと比較して、データアクセス速度は10倍以上(※)高速です。

・書き込みに最適化されたデータレイアウト
データはある一定サイズになるまでメモリ上にキャッシュされ、圧縮してシーケンシャルにHDDに書き込むので、従来のディスクベースのストレージと比較して100倍(※)も高速で、ディスクを効率的に使用可能です。

・ユニバーサルコンプレッション

全てのデータを、HDDにストアする前に独自のアルゴリズムによりインラインで圧縮します。これにより、同じ容量でも30～75%(※)多いデータをストアでき、圧縮によるパフォーマンスへの影響はありません。

・アプリケーションに最適なブロックサイズ
Exchange、SQL Server、VMware
vSphereなどのアプリケーションに最適な論理ブロックサイズに柔軟に対応可能なため、より高いパフォーマンスが得られます。

・インスタントスナップショット＆レプリケーション
ポイント・イン・タイムのコピーをとり、必要に応じてスナップショットをリストアできます。VMwareとWindowsプラグインを持っており、OSとストレージをシームレスにバックアップできます。
圧縮された変更データのみをレプリケーションするだけで、コピーしたデータをセカンダリーシステムに持つことができるので、WANの帯域幅を節約可能で、ディザスタリカバリーのソリューションを容易に実現可能です。

◆ クラウド型マネジメントサービス「Nimble Storage InfoSight」

クラウド型マネジメントサービス「Nimble Storage
InfoSight」を利用することで、システム管理者の運用負荷が大幅に軽減されます。
「InfoSight」では、グローバルに導入された「Nimble
Storage」の稼働状況や利用状況を5分ごとにモニタリングして、予測アルゴリズムや統計アルゴリズムに基づく独自のエンジンにより解析し、パフォーマンスの向上や容量の拡張について、顧客ごとにレポート(InfoSight
Portal)やアラートを提供します。これにより、ストレージライフサイクルをプロアクティブに管理可能となります。

仮想デスクトップソリューションベンダーとして豊富な実績と高い技術力をもつアセンテックは、「Nimble
Storage」を製品ポートフォリオに加えることにより、国内のITインフラ変革を強力に推進していきます。

また、アセンテックと仮想デスクトップ領域で業務・資本提携関係にある株式会社ネットワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森田
晶一）は、テクニカル・アライアンスパートナーとして多様な技術支援を提供します。中でも、ネットワールドは、この10月、出荷前のシステムを構築・検証する「プリ・インテグレーションセンター(略称：PIC)」を開設しており、Nimble
Storage製品とそのエコ・システム製品を組み合わせたシステムの効率的かつ確実な導入が可能となります。

◆「Nimble Storage」の販売について

販売開始：2013年12月 下旬（予定）

販売経路：パートナーであるシステムインテグレータ経由
販売価格：3,900,000円（8TBモデル/税別）～
販売目標：初年度200台

※スナップショット、レプリケーションなどに必要なすべてのソフトウェア機能を、追加ライセンス費用なしで利用できます。
※上記販売価格の他に、年間保守料金が必要です。

アセンテックは、来る11月6日（水）
、7日（木）ザ・プリンスパークタワー東京にて開催される「vForum 2013」（主催：ヴイエムウェア株式会社）に参加し、出展ブースにて「Nimble Storage」を初披露します。
また、12月4日（水） には、ネットワールドの協賛により、「Nimble Launch Seminar in Japan / Nimbleが変えたストレージの未来像～世界に驚きをもたらしたストレージの革命」と題してセミナーを開催します。

◆「Nimble Launch Seminar in Japan」について

日時：2013年12月4日（水） 13:30-17:00
場所：アキバプラザ6F セミナールーム1
定員：120名
主催：NimbleStorage,Inc.、アセンテック株式会社
協賛：株式会社ネットワールド
申込：以下サイトにてお申し込み下さい
http://www.ascentech.co.jp/event/ev_index.html#130607

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com